

事務事業評価シート

評価実施年度：平成30年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-4-4
文化財の保存・継承と活用

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長 文化財課古代文化センター長 稲田 大 電話番号 0852-22-6724

事務事業の名称	古代文化研究事業	
目的	(1) 対象	県内外の人々
	(2) 意図	県内外の人々に、しまねの豊かな歴史文化の研究成果を享受してもらうことで、県民には郷土に対する自信と誇りを高めてもらうとともに、県外の人々には島根県の魅力を知ってもらう。
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 企画運営委員会 古代文化基礎研究事業 特色ある島根の歴史文化に関する基礎研究。①考古基礎資料調査 ②風土記調査研究 ③中世・近世史料の多研究 ④祭礼行事調査研究 古代文化研究事業（テーマ研究） 基礎研究をもとに、外部研究員を交え3年間の研究を行い、歴博企画展を実施する。 調査研究成果の情報発信事業 上記研究成果を刊行物で情報発信。①『古代文化研究』 ②『しまねの古代文化』 ③『古代出雲ゼミナール』 ④テーマ研究報告書、など 	

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名 公表された調査研究成果物の件数	目標値		17.0	17.0	17.0	17.0	件
		取組目標値						
	式・定義 公表された調査研究成果物の件数	実績値	17.0	18.0	17.0			
		達成率	-	105.9	100.0	-	-	%
2	指標名	目標値						
		取組目標値						
	式・定義	実績値						
		達成率	-	-	-	-	-	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	28,812	35,380
うち一般財源 (千円)	27,686	34,010

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

各研究項目は単年度の成果を確実に達成している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

新規テーマ研究の設定にあたり、将来の展示を見据え関係機関（古代文化センター・古代出雲歴史博物館・埋蔵文化財調査センター）の代表者による検討会議を開催した。（年1回）

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

①困っている「状況」

テーマ研究終了後、その成果について古代出雲歴史博物館における企画展への展開がスムーズではない。

②困っている状況が発生している「原因」

- 古代出雲歴史博物館における企画展に向けての準備期間が短い。
- テーマ研究の担当が、古代出雲歴史博物館における企画展の担当にもなるため、大きな負担がかかっている。

③原因を解消するための「課題」

テーマ研究から企画展への展開について、限られた人員体制の中で、組織的・効率的に実施する必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

古代出雲歴史博物館企画展を円滑に開催するため、テーマ研究（3年間）の2年目から、企画展に係る検討会を古代出雲歴史博物館の職員とともに計画的に実施する。